なぜ、ベートヴェンなのか？（仮）
生涯、作品、録音をめぐる100章

ノーマン・レブレヒト 著／山根悟郎 訳／平 湊音 監訳

Now Printing

「衰え知らず」。
ベートーヴェンの人気は、この一言に尽きる。
それも、200年間ずっと。でもなぜ。「？」は不要である。
そこには、明確な理由があるから。
イギリスの音楽評論家、ノーマン・レブレヒトは、その根拠を確信を持って記す。
100の章は曲目単位で構成され、それぞれの作品について、作曲当時のベートーヴェンの生々しい発言や逸話、作品の魅力、そして「まずは聴くべき」おすすめの録音たちが、イギリス人らしい率直な語り口で紹介される。
章が進むにつれ浮かび上がるのは、理想に燃え、人間の全てを音楽で描き尽くさんと生涯挑戦を続けた、七転八倒する生々しい人間＝ベートーヴェンの姿である。
現代を代表する世界的音楽ジャーナリストによる、ベートーヴェン作品の魅力の最深部に迫る渾身の一冊。

判型： A5判 ページ： 384頁
定価 4,290 円 （本体 3900 円+税10%）
ISBN 978-4-276-21536-8

■著者プロフィール■

ノーマン・レブレヒト 著

1948年ロンドン生まれ。音楽テレビのニュース番組プロデューサーを経て音楽ジャーナリストに転身。BBC「ラジオ3」のプレゼンターの他、多数のメディアに原稿を寄稿。著書に『巨匠神話（The Maestro Myth）』（文藝春秋）や『だれがクラシックをだめにしたか（Why Mahler? / Who Killed Classical Music?）』（音楽之友社）など。また、小説『The Song of Names』は、『天才ヴァイオリニストと消えた旋律』の邦題で映画化もされた。クラシックブログ「Slipped Disc」代表。

山根悟郎 訳

1977年生。桐朋学園大学ピアノ科卒業後ベルギーのブリュッセルに3年留学。武蔵野市民文化会館のクラシック音楽担当を約10年務めた。2022年8月独立しオフィス山根を設立。これまで200 組を超える海外アーティストの招聘、1000 公演以上のコンサートの企画実施に関わる。著書に『歴代作曲家ギャラ比べ』『歴代作曲家ギャラ比べ2～名曲誕生の裏事情』（Gakken）。全国で講座も開催。世界の音楽ニュースを平易な言葉で解説するブログは毎日更新。

平 湊音 監訳

富山県高岡市生まれ。東京大学教養学部教養学科卒業。翻訳、通訳に携わるほか、国内外で演奏活動を行う。ミュージック・ペンクラブ・ジャパン、国際ピアノデュオ協会会員。訳書に『文化のなかの西洋音楽史』（ポール・グリフィス著、音楽之友社）、『ベートーヴェンを“読む”』（チャールズ・ローゼン著、道出版）、『ハワイの長老が語り伝える先住民族の聖なる知恵』（ハンク・ウエスルマン、道出版）等がある。

（貴店名・帳合）

ご担当 様

（注文） 冊

新 刊 ！

なぜ、ベートヴェンなのか？（仮）
生涯、作品、録音をめぐる100章
A5判 ・ 384頁 ISBN 978-4-276-21536-8
定 価 4,290 円 （本体 3900 円+税10%）

➡ ご注文: FAX 03-3235-2148 ㈱音楽之友社／営業部 TEL.03-3235-2151